

て結成された福岡地方勞資懇談會は一昨年四月第一回開會以來、回を重ねること五回、回を追ふ毎にその規模を擴大し、今日では縣下の重要事業主、勞働組合代表、縣廳側、協調會側を合するれば俊に六、七十名を越える大會議となり、縣下の産業と勞働に就き協議する極めて有意義なる會合とされてゐる。

福岡地方のこの賞讃的成功に依つて勞資懇談會は關東、關西に於ても相次いで開會され、國家産業の發展、平和の健全なる維持及び最も困難なる勞資問題を解決處理して、産業と勞働を統制する規程が國策の線に沿つてこの勞資懇談會を通じて期待されるに至り、九州聯合會の昨年度大會に於てもこの勞資懇談會を單なる社交的機關に留めず、これを母體として縣産業委員會を設置する決議が採擇され、眞に時代の要求にかのふ施設として益々重視されてゐたが、その五回目の會合が三月八日、博多商工會議所に於て開催され、町田協調會勞働課長の歐洲視察報告を中心に勞資双方の隔意なき懇談が交され、併せて本年度國際勞働總會使用者代表渡邊福雄氏、同勞働代表顧問加藤良左衛門氏が共に本懇談會員中より選出されたる祝賀を兼ねてその送別の宴を催して交雑剋刻勞資懇談會の將來の發展を力強く指示した。我々は必ずこの勞資懇談會が改組され福岡縣産業委員會の母體となり縣下の産業と勞働の統制に大いに寄與するところあるを確信し、この懇談會の發展のため協力を惜まれざりし當日の出席者の芳名を茲に収録して我等のさゝやかなる謝意を捧げる。

日時 昭和十年三月八日午後四時

會場 博多商工會議所樓上

出席者

日鐵八幡製鐵所、明治紡績戸畑工場、日本製糖大里工場、東京製綱小倉工場、日本麥酒大里工場、安川電機、おた福綿株式會社、東邦電力、九州水力電氣、渡邊鐵工所、岡部鐵工所、日本足袋、日本板硝子若松工場、安田製釘、北九州商船三井鑛業、三菱鑛業、住友鑛業、麻生商店、貝嶋炭坑、明治鑛業、大正鑛業、飯塚炭鑛、嘉穂鑛業、總同盟九州聯合會、日鐵從業員組合、海員組合戸畑支部、同門司支部、海員協會若松出張所、日本石灰坑夫組合、セント勞働組合門司支部、石油勞働組合西戸崎支部、製綱勞働組合小倉支部、筑豊合同勞働組合、日本産業勞働協進組合、如山福岡縣知事、平總務部長、土井經濟部長、數藤警察部長、工場、特高兩課長、協調會勞働課長、教務課長、福岡出張所長

## 二、九州地方勞働前衛隊の結成

日本勞働組合會議九州地方協議會加盟團體青年部の統一組織は九州聯合會第六回大會の決議するところで、昨年十二月日本製鐵從業員組合青年部よりの提唱に欣然、應諾し、三月十日製綱小倉勞働會館に於てこれが結成大會を行ひ爾來、九州地方勞働前衛隊は階級戦線の最前線に於ける行動隊として、メーデーの街頭示威に、爭議の應援闘争に宣傳闘争に或は隊員の團體訓練に、青年組合員の教育運動に常にその第一線に制服着用で動員し果敢なる前衛運動を展開してゐる。

綱領

一、われ等は隊の統制に服し規律を嚴守し心身の鍛練と精神の修養を圖り以て自己の完成を期す。

二、われ等は資本主義道徳の破産と人心の頹廢を克服し勞働青年の健全なる立場より青年運動を擴大し健全なる勞働組合主義の徹底を期す。

三、われ等は勞働階級解放の大義に即ち日本勞働組合會議九州地方協議會の強力なる行動隊となつて健全なる新社會の建設を期す。

役員

隊長 篠原運(日鐵) 副隊長 廣渡源三(總同盟) 木下善市(海員組合) 會計 岡藤三郎(日鐵) 會計監督 安山政行(港從) 久保田藤平(港從) 庶務部長 瀬戸崎清(總同盟) 教育部長 越智克己(總同盟) 宣傳部長 吉田繁太(總同盟) 連絡部長 清水道男(總同盟) 調査部長 古賀政喜(日鐵) 辯論部長 田中兼久(日鐵)

## 三、九州勞働新聞の發刊

永年、組合員の教育、指導の機關に慟んでゐた九州聯合會が多年の懸案としてゐた機關紙の發刊が、日本勞働組合會議九州地方協議會加盟の倂友諸團體の熱誠なる協力の下に本年度に於て實現されるに至つたのは誠に慶賀に堪えぬ。九州勞働新聞の當面の役割は組合員の教育、指導の機關たるは勿論、九州に於ける勞働組合無産政黨の連絡機關として九州の戦線に於ける諸情勢を蒐報報告し、組合員大衆へ實踐闘争の經驗を訴え、その厳正なる批判の正に更に新しき具體的なる戦術が立案され、以て健全なる勞働組合主義の徹底を期するものである。内に對しては組合員大衆の感情、情操の